

群馬交響楽団 東京公演



指揮
大友直人
(群馬交響楽団音楽監督)
Conductor /
Naoto Otomo
(Music Director)



ピアノ
萩原麻未
Piano /
Mami Hagiwara

©Akira Muto

千住明 / オペラ《滝の白糸》序曲
Akira Senju / Opera "Takino Shiraito" Overture

チャイコフスキー / ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
Pyotr Tchaikovsky / Piano Concerto No.1 in B-flat Minor, Op.23

ラフマニノフ / 交響曲 第2番 ホ短調 作品27
Sergei Rachmaninov / Symphony No.2 in E Minor, Op.27

※出演者、曲目等はやむをえない事情により変更になる場合があります。

©Rowland Kirishima

2017.3.19(日)

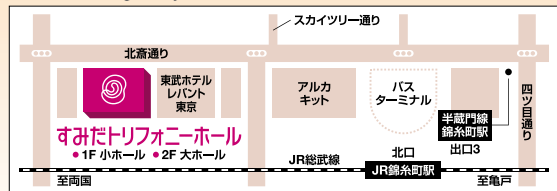
15:00開演(14:15開場)

Sunday, March 19, 2017 3:00p.m.

14:30より渡辺和彦氏(音楽評論家)によるプレ・コンサート・トーク

すみだトリフォニーホール

SUMIDA triphony hall



JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分
東京スカイツリー®より徒歩20分

チケット

S席/5,700円 A席/4,600円 B席/3,600円 C席/2,600円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

お問い合わせ・ご予約

公益財団法人 群馬交響楽団

チケット/☎027-322-4944 お問い合わせ/027-322-4316

※群馬ホームページからもお申込みいただけます。



プレイガイド チケット発売 11月1日(火)

■トリフォニーホールチケットセンター/
☎03-5608-1212 <https://www.triphony.com/>

■チケットぴあ/☎0570-02-9999 (Pコード:306-686) <http://t.pia.jp>
※チケットぴあ端末のあるお店にて、発券・購入いただけます。

■e+(イープラス)/<http://eplus.jp>

■群響オンラインチケットサービス/<http://gunkyo.com>

群馬交響楽団 東京公演 2017年3月19日(日) / すみだトリフォニーホール

GUNMA SYMPHONY ORCHESTRA in TOKYO SUMIDA TRIPHONY HALL Sunday, March 19, 2017 3:00p.m.

Profile

指揮：大友 直人 (群響音楽監督)
Naoto Otomo, Conductor (Music Director)

ピアノ：萩原 麻未
Mami Hagiwara, Piano

現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。

在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年3月にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、以降定期的に客演し、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演、絶賛を博す。2013年にはエネスク国際音楽祭に招かれ「弦楽八重奏op.7」を演奏。「繰り返し演奏されているが、今回の演奏は最高の演奏」「日本のオーケストラ演奏が西洋音楽への新しい希望を見出した。」と評され、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。

オペラにも力を入れており、1988年日生劇場における《魔弾の射手》でのオペラデビュー以来、オペラの指揮も高く評価されている。特に、2006年8月にブッチーニ音楽祭にて三枝成彰作曲オペラ《Jr. バタフライ》(2014年にも同音楽祭で再演)や、2013年1月には同作曲家のオペラ《KAMIKAZE-神風-》の世界初演、そして2014年1月には千住明作曲新作オペラ《滝の白糸》を指揮し、大きな話題となった。

クラシックと他のジャンルとのコラボレーションによる新たな音楽シーンを発信しており、既成のジャンルや表現形式に捉われない新しい形の舞台芸術をプロデュースするなど、音楽プロデューサーとしても新しい音楽シーンを牽引している。

教育的活動にも力を注ぎ、国際音楽セミナー「ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン」を盟友である指揮者アラン・ギルバートと毎年開催するなど、活発な活動を行っている。

2000年第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2008年第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

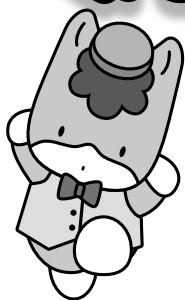
広島県出身。5歳よりピアノを始める。第65回ジュネーブ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。年によって1位を出さないこの伝統あるコンクールでの8年ぶりの優勝は、各方面で大きな話題を集めた。その後日本、ヨーロッパ、ベネズエラ、ベトナム等において、ソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行い、スイスのグシュタード・ニューイヤー・フェスティバル、ジュラ・フェスティバル、フランスのペリグー・ノワール・フェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン、ラ・フォル・ジュルネ(ナント/日本)等の様々な音楽祭に招かれる。国内では、N響、東京響、東京フィル、日本フィル、大阪フィル、札幌響、新日本フィル、仙台フィル、群馬響、中部フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、広島響、山形響、横浜シフォニエッタといった国内主要オーケストラのほか、スイス・ロマン管、南西ドイツ放送響、フィルハーモニア台湾、エル・システム・ユース・オーケストラ・オブ・カラカス、トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン、ベトナム国立交響楽団などの楽団とも共演を重ねている。1996、98年にフェニックス賞、メイプル賞を、2001年にイタリア・フィナーレリグレ市より文化交流賞を受賞し、2011年には広島市民賞、ひろしまフェニックス賞特別賞、ミュージック・ベンクラブ新人賞、第13回ホテルオークラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュ・アーティスト賞、第22回出光音楽賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、第46回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞など多数受賞。第27回バルマードロ国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位に輝く。広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてパリ国立高等音楽院へ留学、同音楽院修士課程を首席で卒業し、同音楽院室内楽科、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院を卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生。

これまでにピアノを高松和、田中美保子、小嶋素子、クラウド・ソアレス、ジャック・ルヴィエ、プリスカ・ブノワ各氏に、室内楽をイタマル・ゴラン、エリック・ル・サージュ各氏に師事。メディアでは「題名のない音楽会」「らららクラシック」「クラシック倶楽部」「名曲アルバム」等のテレビ番組、スイス・ロマン放送等のラジオ番組にも多数出演している。

群響は千住明(1960年生まれ)のオペラ「万葉集」(2009年)全曲を14年10月定期で演奏済。今回は同じ作曲家の「滝の白糸」(2014年)の序曲を紹介。チャイコフスキーのピアノ協奏曲(1875年初演)は曲の完成後、親友のN. ルビンシテインに「演奏不能」と断定されたエピソードが有名だが、曲そのものは有名な序奏と続々と登場する美しいメロディー、物凄い演奏テクニックなどが危うい均衡を保つ傑作。2010年ジュネーブ・コンクール優勝の萩原麻未はどんな演奏を披露してくれるだろう。ラフマニノフの交響曲第2番(1936年初演)は、第3楽章アダージョが日本で恋愛ドラマのテーマ曲になったことがある。

(音楽評論家: 渡辺和彦)

ぐんまをまるごと体感。



群馬だけの 観光 物産 情報 が大集合!

農産物加工品、菓子、工芸品、酒類など、ぐんまの選りすぐりの特産品を取りそえていきます。また観光情報はもちろん、チケットや宿泊の手配も行っております!

〒104-0061 東京都中央区銀座5-13-19 デュープレックス銀座タワー5/13 1・2F

電話 03-3546-8511 検索

営業時間 10:00 ~ 19:00 <http://kikaku.pref.gunma.jp/g-info/>

ぐんま総合情報センター ぐんまおちん家

ぐんまのアンテナショップ

~ ヒト・モノ・情報の交差点 ~

